TKS−2TI−D2U

保存用

コイズミ学習デスク
取扱説明書（保証書付き）

棚付デスク

● **ODU-231 BR**
● **ODU-232 WW**

目　次

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
●お読みになった後は大切に保存していただき取扱いのわからないときにお役立てください。

この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

警告 WARNING	説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。 A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.
注意 CAUTION	説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。 A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

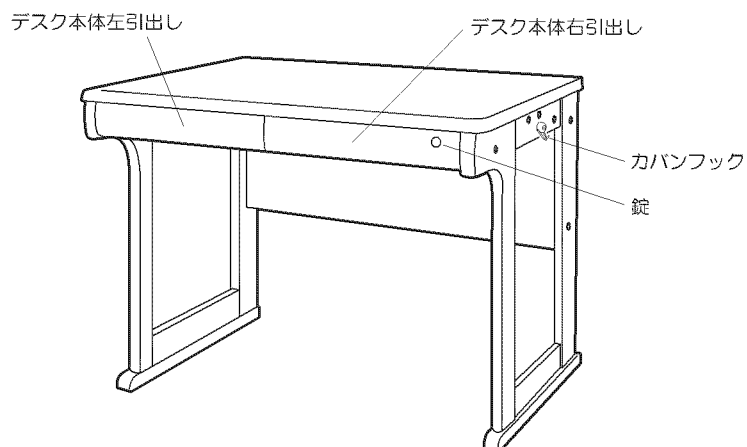
このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

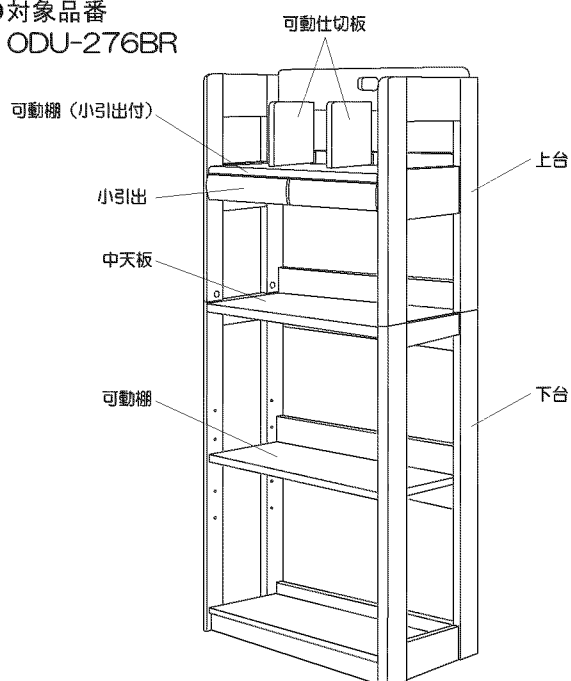
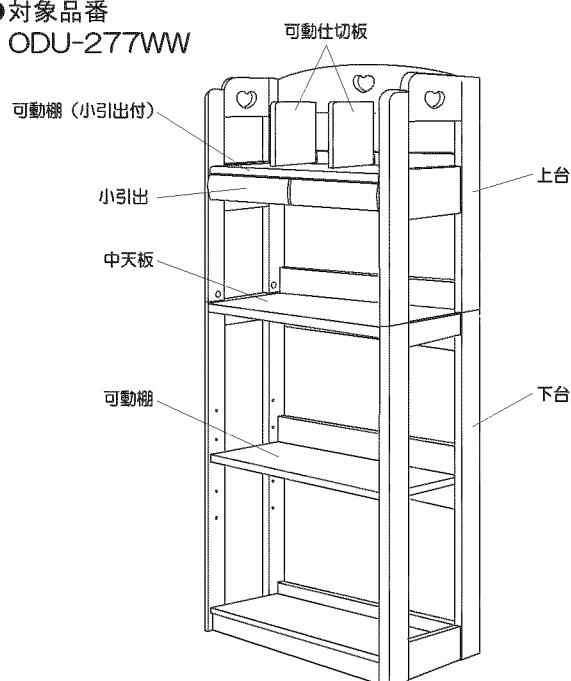
このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

1　各部の名称（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

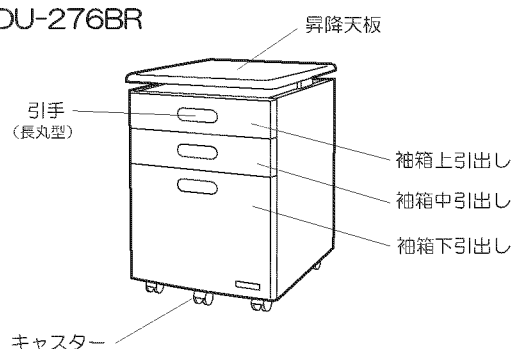
(1)デスク本体

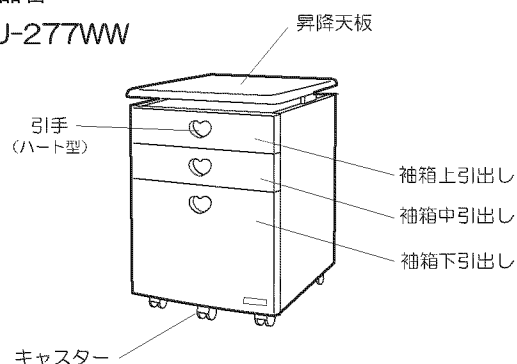
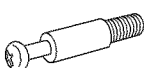
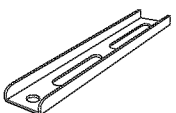
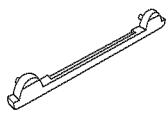
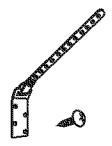
※品番は本体左引出し内の品質表示ラベルにてご確認ください。

●対象品番
ODU-231 BR
ODU-232 WW

(2) シェルフ

※品番は上台小引出内の品番表示ラベルにてご確認ください。

●対象品番
ODU-276BR

●対象品番
ODU-277WW

(3) 袖箱

※品番は袖箱上段引出し内の品番表示ラベルにてご確認ください。

●対象品番
ODU-276BR

●対象品番
ODU-277WW

2　付属品　（付属品がすべてそろっているかご確認ください。）

■デスク本体付属品　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

ボルト(M6×35mm)	カバンフック	トラスボルト	ナット用キャップ	穴埋めキャップ	カギ	コンセントボックス
TKS8BU635	SZC9KF07R SZCTKF10W	TKS8BW625	SZC9DC06R SZCTDC10W	SZC9AC18R SZCTAC18W	LTFTKD503	KRE9SW10L
×10	×1	×1	×2	×1	×1セット	×1

■シェルフ付属部品　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

連結ピン	回転金具	ユニットデスク用連結金具	ボルト(M6X20mm)	樹脂棚ダボ	金属棚ダボ	転倒防止金具
SZC8MB605	SZC8MKN18	SZCTLKSUL	TKS8BU620	SZCTTD09G	SZCTTD850	SZC8TN002
×10	×10	×2	×6	×2	×4	×1セット

■袖箱付属品　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

キャスター(5個入)	ペントレー	仕切板(下引出し用)
SZC9WC94G	RINTPE50G	
×1セット	×1	×2

（注）
※キャスター1セットは、ストッパー付が2個ストッパー無しが3個となります。

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。カバンフックとキャップ類は、上段がBR色用、下段がWW色用の部品品番となります。

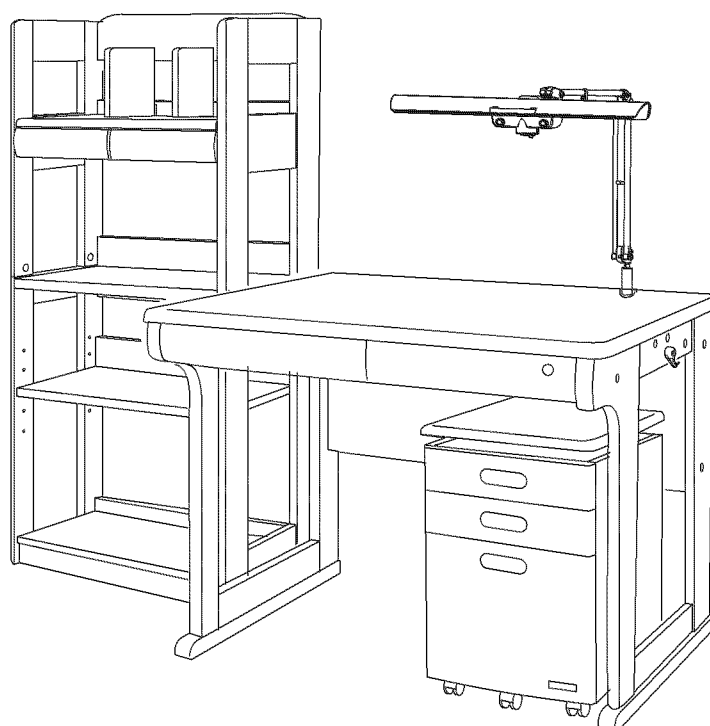
3　商品の使用スタイル　（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

この商品は、お子様のライフスタイルに合わせて使用スタイルが変えられます。
組立ての前に、「ステップ1」「ステップ２」のどちらのスタイルで組み立てるかを選んでください。
●ステップ1の場合　→　P5へ　　●ステップ２の場合　→　P8へ

●ステップ１（ユニットスタイル）

デスクとシェルフを連結させ、ユニットデスクとして使用ができます。
※左右の組替えが可能です。

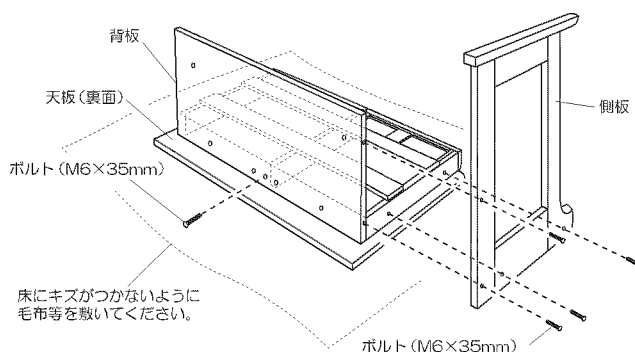
●ステップ２（セパレートスタイル）

デスクとシェルフを分割して使用ができます。お部屋の間取りに合わせてレイアウトすることにより、部屋をすっきりと使用することができます。

4　組立方法　ステップ1　（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

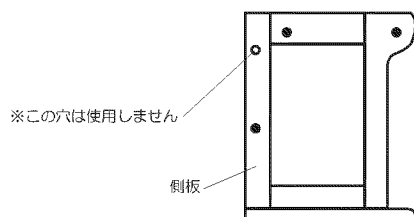
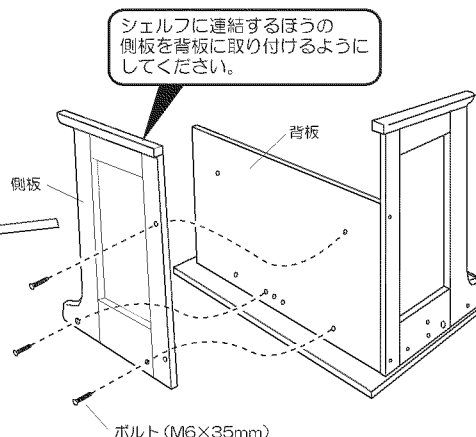
■ステップ１の組立方法　（組立は２人でおこなってください。）

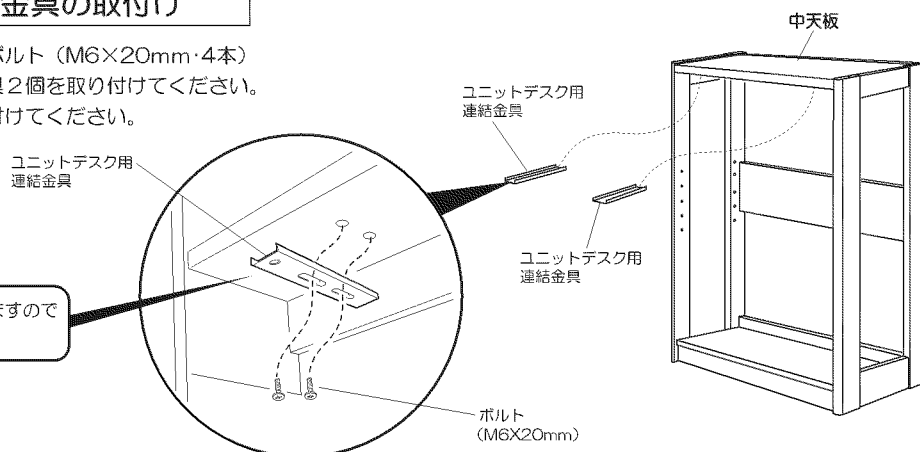
（１）背板と側板の取付け

①右の図を参照にして、背板を本体天板にボルト（M6×35mm・１本）を用いて固定してください。
※このとき、背板の上下に注意してください。

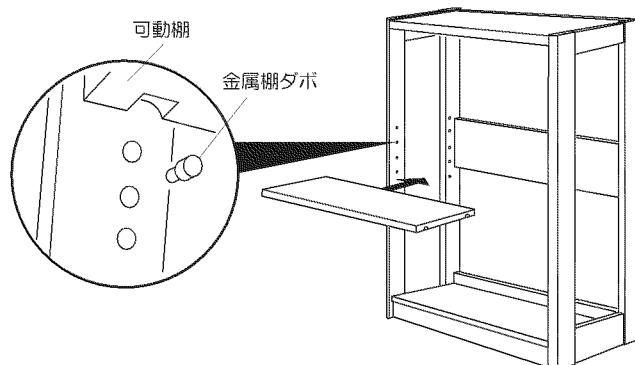
②側板を背板と本体天板にボルト（M6×35mm・4本）を用いて組み付けてください。
※このとき、シェルフと連結しない方に側板を組み付けます。

（２）側板の取付け

①右の図を参照にして、側板を背板にボルト（M6×35mm・3本）を用いて固定してください。

②組み上りましたら、すべてのボルトをしっかりと締付けてください。

⚠ デスク本体付属品のボルト１本が残ります。

（３）ユニットデスク用連結金具の取付け

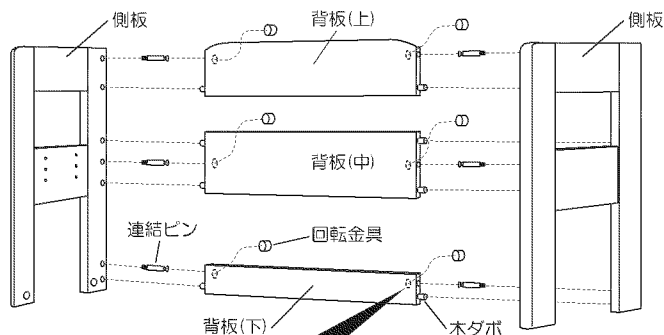
①右の図を参照にして、中天板裏面にボルト（M6×20mm・4本）を用いて、ユニットデスク用連結金具２個を取り付けてください。
金具の丸穴が前側にくるように、取付けてください。

（４）下台の可動棚の取付け

①右の図を参照にして、金属棚ダボ（4個）を下台の側板前後の内面のダボ穴に差し込んでください。
ダボ穴は、5段階に穴が開いていますので、お好みの同じ高さに金属棚ダボを差し込み、可動棚を取り付けてください。

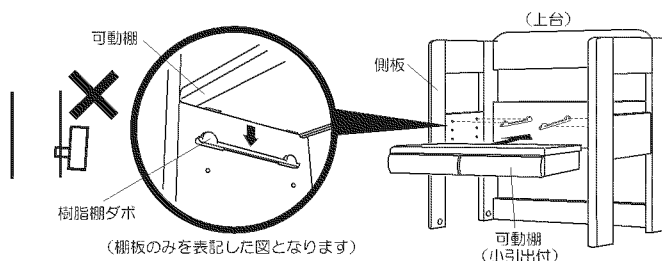
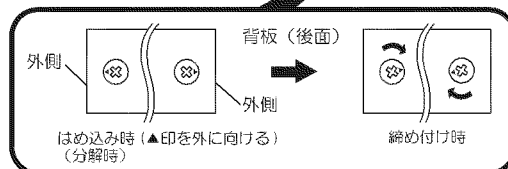
●可動棚の取付け
⃠側板の穴に棚ダボを確実に取付けて棚板の水平を保つように棚板の下の溝に確実にはめ込んでください。
➜中途半端な取付けでは、棚板がはずれて、ものが落ちたり倒れたりして、けが・破損の原因になります。

4 組立方法 ステップ2 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（5）シェルフ上台の組立て方

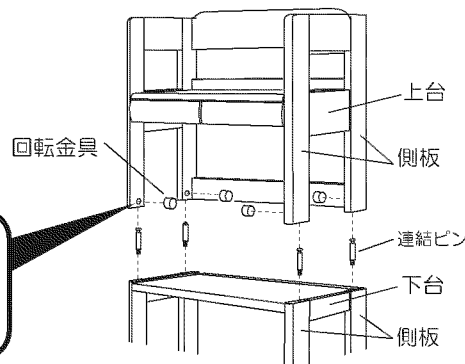
■側板と背板の組立て

①上台の左右側板後の内面に、それぞれ連結ピンを3本ずつをねじ込んでください。
②背板の木ダボを左右側板の穴に差し込んでください。
③上台の背板(上)(中)(下)の背面の穴に、回転金具をはめ込んでください。
※図のように、回転金具の▼印が外側に向くよう位置を合わせてください。
④回転金具を⊕ドライバーで右へ回し、締め付けてください。

■可動棚の取付け

①上台の左右側板の内面に、樹脂棚ダボを取り付け、可動棚（引出し付き）取り付けてください。
※3段階の高さ調節が可能です。

⦸樹脂棚ダボは確実に取り付け、可動棚を水平を保つように、可動棚の下の溝に確実にはめ込んでください。
➡樹脂棚ダボがきっちりとはめ込まれていなかったり、可動棚が水平になっていない場合は、可動棚がはずれてものが落ちたり、小引出しを引き出したりした時に倒れたりして、けがや破損の原因になることがあります。

（6）シェルフの上台と下台の取付け

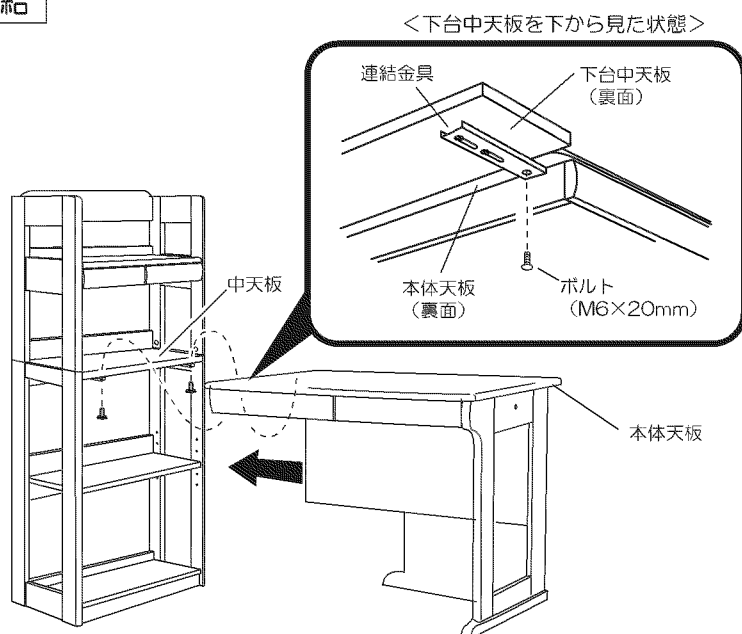
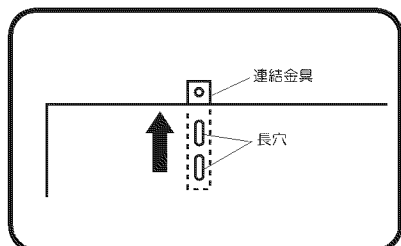
①下台の側板上面に連結ピンを4本をねじ込み、上方から上台をのせてください。

②上台の左右側板に回転金具を4個はめ込み、⊕ドライバーで右へ回し、締め付けてください。

（7）デスク天板とシェルフ下台中天板の連結

①5ページ（4）で取り付けた、ユニットデスク連結金具が下図の様に下台中天板から最後まで出ていることを確認してください。

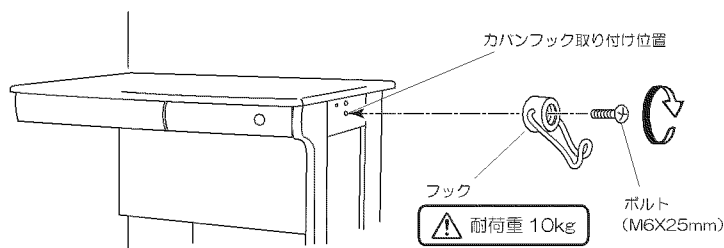
②連結金具の出っ張りに本体天板を仮置きし、連結金具の穴と本体天板裏面のナット位置を合わせてください。

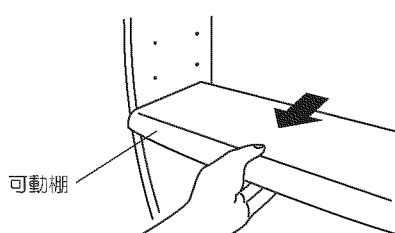
③連結金具と本体天板を、ボルト（M6×20mm·2本）を用いて締め付けてください。

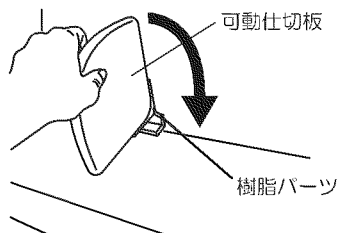
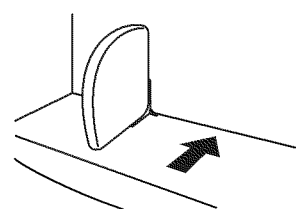
④天板と中天板の間に隙間があるときは、長穴側のボルトを緩め、隙間がないよう調整してください。

4 組立方法 ステップ1 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（8）カバンフックの取付け

①右の図を参照して、デスク本体の側板にカバンフックを取り付けてください。

⊘フックには10Kgを超える物を掛けないでください。
また、衝撃を加えたりしないでください。
➡けが・破損の原因になることがあります。

（9）可動仕切板の取付け

●可動棚への取付け方法

※可動仕切板を取り付ける際は、上に物がのっていないことを確認してください。

①可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。

②可動棚の後に樹脂パーツをはめ込んでください。

③樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから可動棚を元の位置にもどしてください。

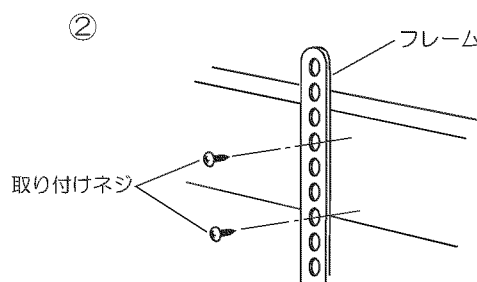
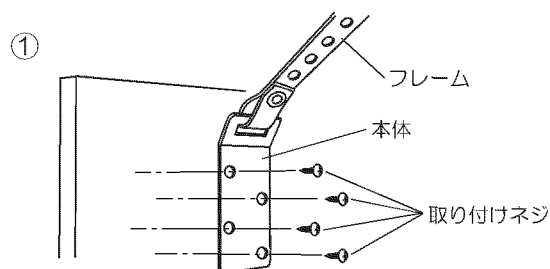
■転倒防止金具の取付け方法

①転倒防止金具（本体）を家具のシェルフ上部に付属のネジ4本にて取付けてください。
※取付け部は 18mm 以上の厚みで硬い木部を選んでください。

②壁または柱など（木部）、付属のネジ２本が取り付けられるところにフレームの穴をあわせてネジ止めしてください。
※このとき、フレームの長さを任意に位置に合わせてください。

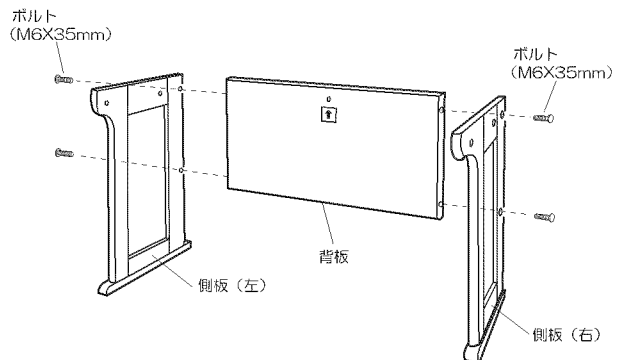
No.	部品名	数	No.	部品名	数
1	転倒防止金具	1 個	2	取り付けネジ	6 本

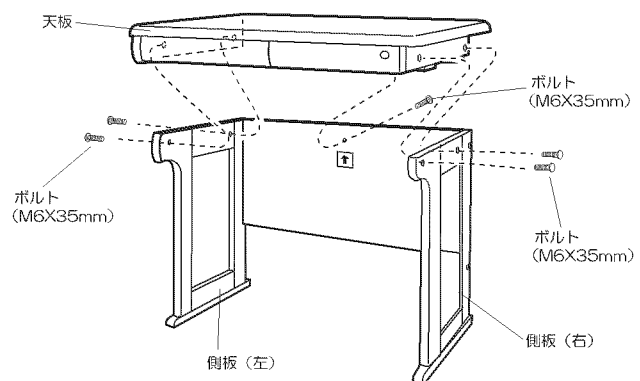
①

②

4 組立方法 ステップ2 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■ステップ２ の組立方法 （組立は２人でおこなってください。）

（1）背板と側板の取付け

右の図を参照して左右の側板を背板にボルト（M6X35mm･4本）を用いて固定してください。
※このとき、背板の上下に注意してください。

（2）天板の取付け

①右の図を参照して左右の側板と天板をボルト（M6X35mm･4本）を用いて固定してください。
②組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締め付けてください。
③背板の後ろから、ボルト（M6X35mm･1本）を用いて締め付けてください。

（3）シェルフ上台の組立て方

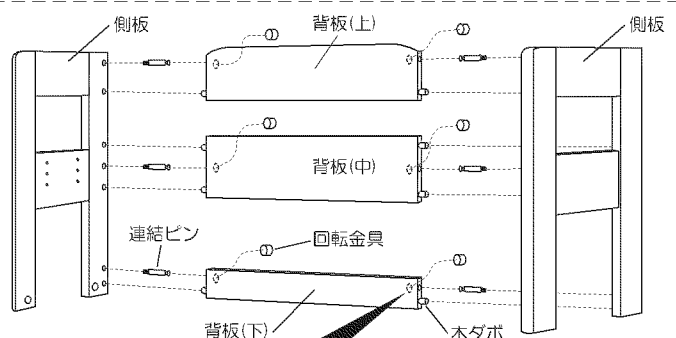
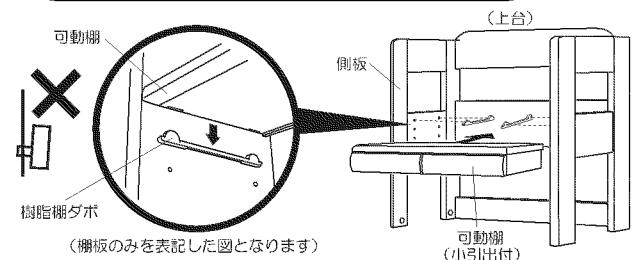
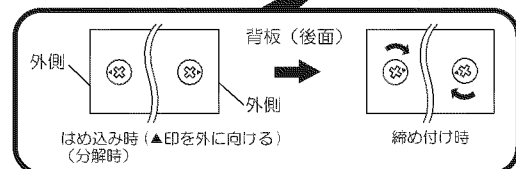
■側板と背板の組立て

①上台の左右側板後の内面に、それぞれ連結ピンを3本ずつをねじ込んでください。
②背板の木ダボを左右側板の穴に差し込んでください。
③上台の背板(上)(中)(下)の背面の穴に、回転金具をはめ込んでください。
※図のように、回転金具の▼印が外側に向くよう位置を合わせてください。
④回転金具を⊕ドライバーで右へ回し、締め付けてください。

■可動棚の取付け

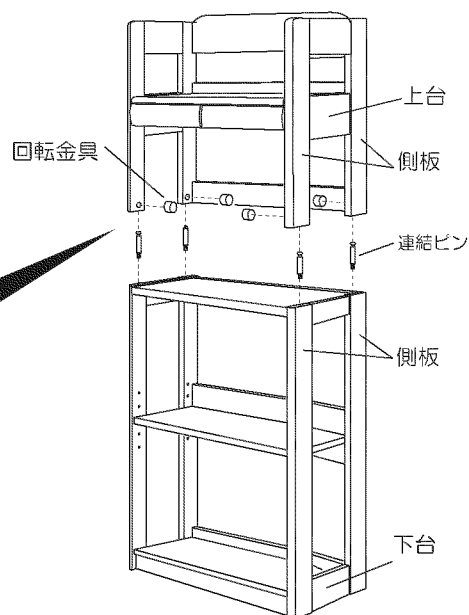
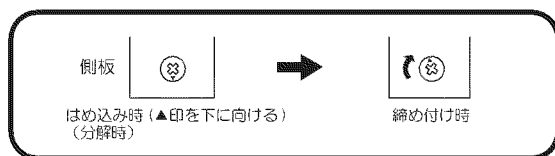
①上台の左右側板の内面に、樹脂棚ダボを取り付け、可動棚（引出し付き）取り付けてください。
※3段階の高さ調節が可能です。

⊘樹脂棚ダボは確実に取り付け、可動棚を水平を保つように、可動棚の下の溝に確実にはめ込んでください。
➡樹脂棚ダボがきっちりとはめ込まれていなかったり、可動棚が水平になっていない場合は、可動棚がはずれてものが落ちたり、小引出しを引き出したりした時に倒れたりして、けがや破損の原因になることがあります。

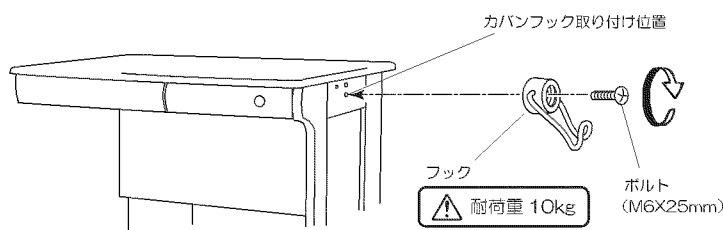
（棚板のみを表記した図となります）

4 組立方法 ステップ2 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

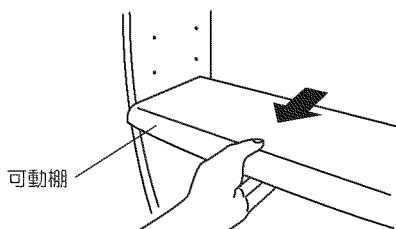
（4）シェルフの上台と下台の取付け

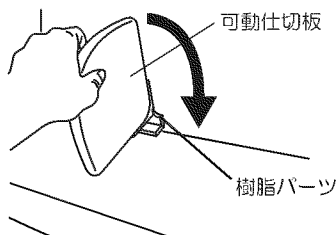
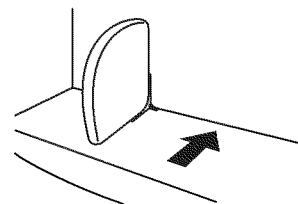
①下台の側板上面に連結ピンを4本をねじ込み、上方から上台をのせてください。

②上台の左右側板に回転金具を4個はめ込み、⊕ドライバーで右へ回し、締め付けてください。

（5）カバンフックの取付け

①右の図を参照して、デスク本体の側板にカバンフックを取り付けてください。

⃠フックには10Kgを超える物を掛けないでください。
また、衝撃を加えたりしないでください。
➡けが・破損の原因になることがあります。

（6）可動仕切板の取付け

●可動棚への取付け方法

※可動仕切板を取り付ける際は、上に物がのっていないことを確認してください。

①可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。

②可動棚の後に樹脂パーツをはめ込んでください。

③樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから可動棚を元の位置にもどしてください。

5 使用方法

（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■ 袖箱の使用方法

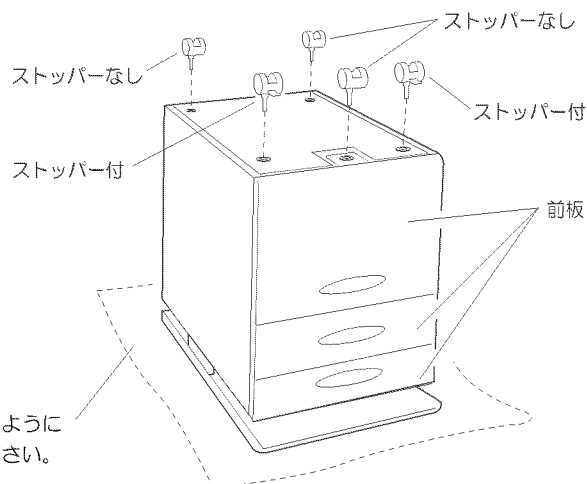
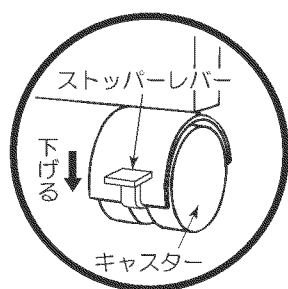
（1）キャスター取付け・使用方法

①地板の裏にキャスター4個をしっかり差し込んでください。

②下段引出しの下のキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）1個をしっかり差し込んでください。

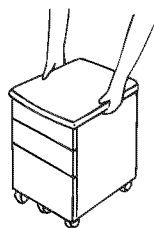
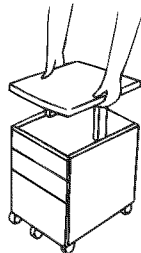
ワゴン付属部品		
キャスター（5個入）	ペントレー	仕切板（下引出し用）
SZC9WC94G	RINTPE50G	
×1 セット	×1	×2

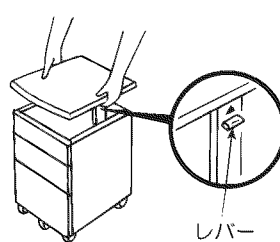
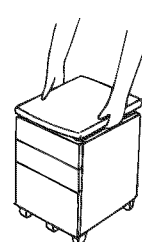
※キャスター1セットは、ストッパー付が2個、ストッパー無しが3個となります。

●袖箱はキャスターにより、自由に移動できます。
●移動を止めたい時は、袖箱の前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

床にキズがつかないように
毛布等を敷いてください。

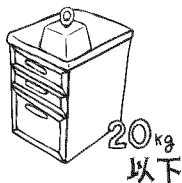
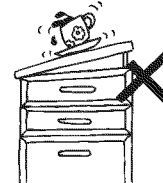
（2）袖箱昇降天板　上下操作方法

●天板を上げるとき

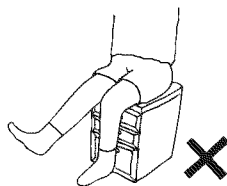
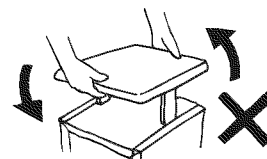
①両手で天板の左右を持つ。

②ゆっくりと持ち上げる。（12段階調節できます。）

●天板を下げるとき

①両手で天板の左右のレバーを上に引き上げる。

②レバーを引き上げたままゆっくりとおろす。

⚠ 警　告

●天板には20kgを超えるものをのせないでください。
けが・破損の原因になります。

（天板中央部垂直耐荷重：100kg）

●昇降天板は水平を保つようにして固定してください。
➡傾いたまま使っていると、天板の上のものが落ちたりして、けが・破損の原因になります。

●天板や引出しの上に乗らないでください。
➡けが・破損の原因になります。

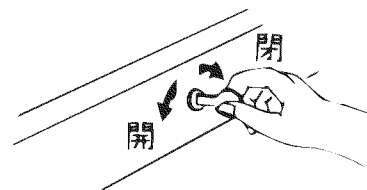
●激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
➡倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。

●昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行なってください。
➡無理な力を加えたり、固定が不完全ですと、けが・破損の原因になります。

●水平をたもつように置いてください。
➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、けが・破損の原因になります。

●昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしないでください。
➡けが・破損の原因になります。

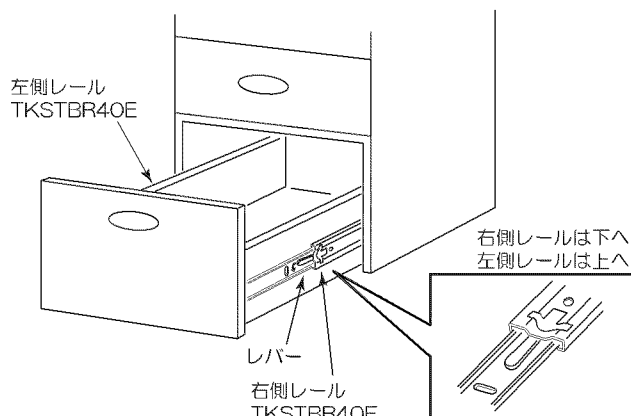
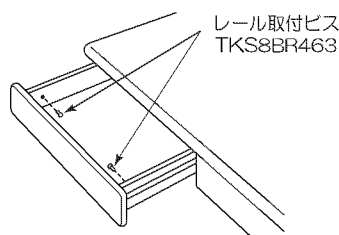
5 使用方法

■使用方法

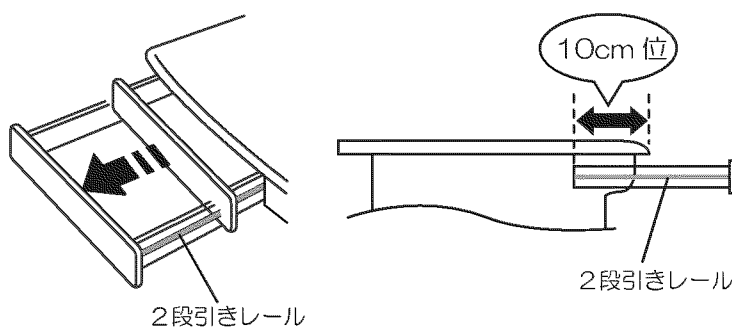
(1) カギの使用方法

●カギを差し込んで、右へ180° まわすと閉まります。
●カギを差し込んで、左へ180° まわすと開きます。
※カギは全機種共通の為、盗難防止の保証はいたしかねます。
⚠カギは最後まで差し込んでから操作してください。
また、まわし過ぎないようにしてください。
➡カギや錠前の破損の原因になります。

(2) 引出しの使用方法

<引出しのはずし方>
①金属レール（デスク本体、袖箱上・中引出し）
●引出しは、内面のレール取付ビス(左・右)２本をはずすと抜き取れます。
② 袖箱下引出し3段引きフルオープン
●レバーを下へ(左側は上へ)押しながら引出しを抜くとはずれます。

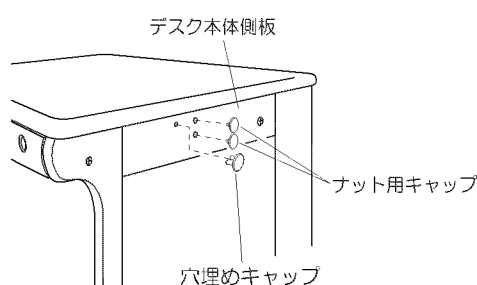
<引出し内の耐荷重>
デスク本体引出し…６kg
上棚小引出し ……１kg
袖箱上引出し ……５kg
袖箱中引出し ……５kg
袖箱下引出し ……２０kg

■引き出しがかたくなったときは. . .

●デスク引き出しには、2段引きレールを使用しています。
このレールの構造特性上、引き出しを最後まで引き出さず、開閉をくりかえし使い続けた場合、引き出しがかたくなることがありますが、故障ではありません。
数回に分けて少し強く引き、最後まで引き出してください。

●これでも改善されない場合は、レールの破損も考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

(3) 棚板の耐荷重

●可動棚……12kg

(4) ナット用キャップの取付け・穴埋めキャップの取付け

（ナット用キャップの取付け）
● コンセントボックス、カバンフックを取付けたあと残るネジ穴に、ナット用キャップをはめ込んでください。
（穴埋めキャップの取付け）
● コンセントボックスを取付けたあと残る穴に、穴埋め用キャップをはめ込んでください。

5 使用方法

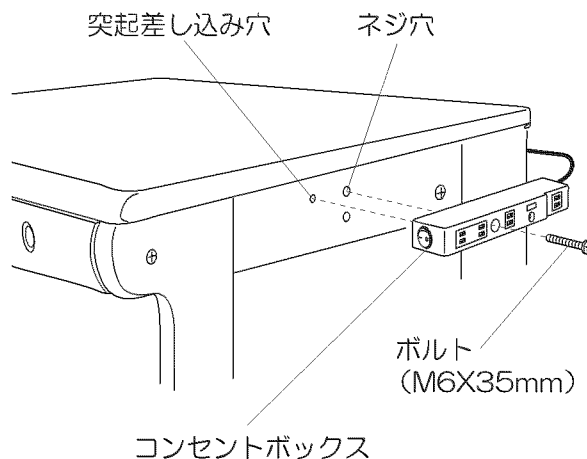
■コンセントボックスの使用方法

(1) デスク本体への取付け方法

①本体の側板の右外側、または左外側にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。

②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・１本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。
⊘確実にコンセントを取り付けてください。
➡落下により、けが・破損の原因になります。

※コンセントを本体の側板に取り付ける場合、お好みに応じて本体の左側板、または右側板に取り付けることができます。

※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。

5 使用方法

(3) 机のコンセントは4口で、合計1300ワット(W)までの家電製品が使用できます。

⊘ご使用時に使用する家電製品の定格消費電力のワット(W)数の合計が1300ワット(W)以下となることを確かめてからご使用ください。エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット(W)数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。

➡合計が1300ワット(W)を超えた状態でご使用になりますと、ブレーカーがはたらきコンセントが使用できなくなります。

⊘ライト専用コンセントは、付属のライト以外には絶対に使用しないでください。

➡付属のライト以外の家電製品を使用されますと火災･発煙･過熱の原因になります。

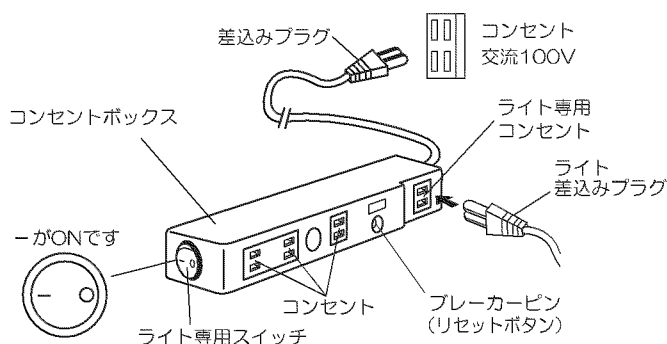
※机のコンセントで使用できない場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。

⊘コンセントへの差し込みプラグの抜き差しの際は、片手でコンセント側、もう一方の手でプラグを持ち、ゆっくりと確実に行なってください。
➡コードが早くいたんだり、火災･感電･破損の原因になります。
⊘このコンセントは固定した状態で使用する様に設計されています。ボルトを外した状態での使用や延長コードとしてのご使用はおやめください。
➡コードが早くいたんだり、火災･感電･破損の原因になります。
⊘その他のネジ類をはずしたり、分解･修理･改造は絶対しないでください。
➡火災･感電の原因になります。
⊘プラグは完全に根元まで差し込んでください。
➡不完全ですと、火災・感電の原因になります。

(4) ブレーカーがはたらいた場合

ブレーカーピンが手前に飛び出します。
①コンセントボックスのすべてのコンセントから電源コードを抜いてください。
②フレーカーピンを押し込んでください。

⊘ ご使用の家電製品の定格消費電力ワット(W)数の合計が1300ワット(W)を超える場合、その他過電流が流れる場合は、原因を取り除いたうえ、ご使用ください。

➡ 原因を取り除かずに、リセット操作を繰り返した場合、発煙・過熱・変形の原因となります。

■家具のすえ付け時のご注意

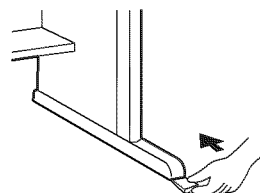
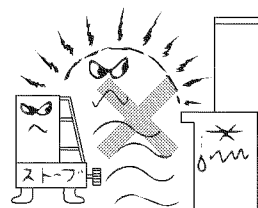
①すえ付け場所

⚠直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当らないようにしてください。

➡家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。

②水平設置

⚠水平を保つように置いてください。水平でない場合、家具の下に詰めものなどをして水平にしてください。

➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。

6 照明器具の使用方法

使用前に必ず確認してください。

⚠ 警 告

●この照明器具は非防水です。
湿気の多い場所や水のかかる場所では使用できません。
➡ 火災・感電・絶縁不良の原因になります。

●異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、
粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
➡ 火災・感電・落下・錆びの原因になります。

●サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
➡ 火災・焼損・やけどの原因になります。

●指定のランプ以外は使用しないでください。
➡ 焼損・過熱・変色の原因になります。

●照明器具やランプに布や紙等
燃えやすいものをかぶせたり、近づけたりして
使用しないでください。
➡ 火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

●照明器具を改造したり、部品を追加・変更して
使用しないでください。
➡ 感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

●ランプ外管が割れた場合は絶対に
点灯させないでください。
➡ 感電の原因になります。

●電源の接続は使用方法に従って
確実に行ってください。
➡ 接続が不完全な場合、故障の原因になります。

●まくら元およびベッドで使用しないでください。
➡ 倒れた場合、火災の原因になります。

●据置面には十分に注意し、
安定した場所でご使用ください。
➡ 倒れた場合、火災の原因になります。

●器具から煙が出たり、変な臭いがしたときには、
速やかに電源を切ってください。
➡ 放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
販売店にご相談ください。

●電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線等)、
速やかに販売店に修理を依頼してください。
➡ そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。

●ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、
直ちに電源を切りランプを交換してください。
➡ 放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。

●器具のすきまや放熱穴等に
金属類を差し込まないでください。
➡ 感電・故障の原因になります。

●カーテン等可燃物の近くで使用しないでください。
➡ 火災の原因になります。

⚠ 注 意

●この照明器具は屋内専用器具です。
屋外では使用できません。
➡ 火災・感電・故障の原因になります。

●寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
➡ 感電・絶縁不良・ランプ損傷・
器具内部の結露の原因になります。

●点灯中及び消灯直後は照明器具やランプが
高温になっていますので素手で触らないでください。
➡ やけどの原因になります。

●この照明器具は周囲温度5℃～35℃、
湿度45%～85%の中で使用してください。
➡ 高温・高湿の場合は焼損・過熱・故障・変形・変色の
原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり
点灯しないことがあります。

●照明器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
➡ 間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプ短寿命及び
火災・過熱の原因になります。

●照明器具に貼り付けている
注意シールの指示に従ってください。
➡ 守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の
原因になります。

●照明器具の近くや電波状況の弱い場所では
ラジオ・補聴器・電話機・音響製品等に
雑音が入る場合があります。
➡ 器具とラジオ・補聴器・電話機・音響製品等を
150cm以上離してご使用ください。

●照明器具の近くでリモコン(コントローラー)を
操作した場合、誤作動することがあります。
➡ 器具とコントローラー受信部を離してご使用ください。

●部屋の他の器具と併用し、スタンドのランプが直接目に
あたらないようにセードの角度を調節してご使用ください。
➡ 目の健康にご注意ください。

●ランプと被照射物とは10cm以上離してください。
➡ 被照射物の焼損・変形・変色の原因になります。

●電源を入れたまま、ランプの取付け、取外しは
しないでください。
➡ 感電・故障の原因になります。

●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったりしないでください。
➡ 電源コードが損傷し、感電・故障の原因になります。

●点灯中、ソケットからランプを抜いたり差したり
しないでください。
➡ 保護装置が働き、再点灯しないことがあります。

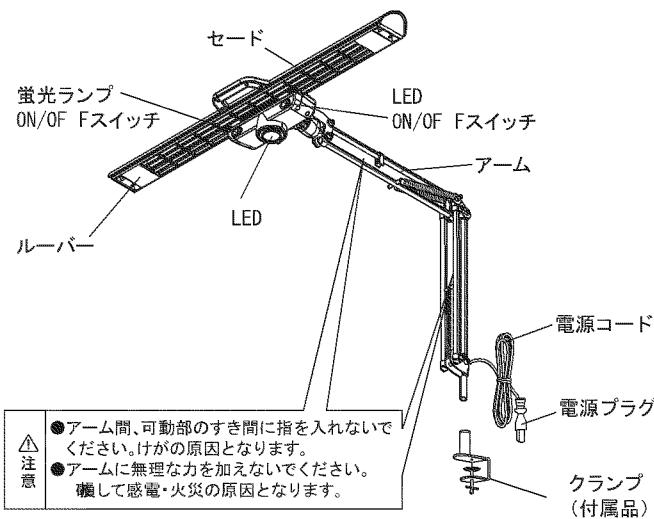
●ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。
➡ 感電の原因になります。

●器具やランプに着色等をしないでください。
➡ 焼損・過熱・故障・変色の原因になります。

●点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。
熱による器具構成材料の収縮音です。
➡ ひどい場合は販売店にお申し出ください。

5 照明器具の使用方法 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

1. 各部の名称及び付属品

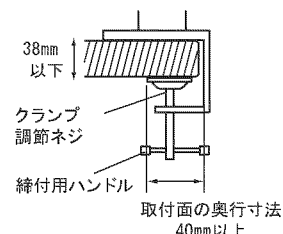
品　番　SB-151

⚠注意
- ●アーム間、可動部のすき間に指を入れないでください。けがの原因となります。
- ●アームに無理な力を加えないでください。
  破損して感電・火災の原因となります。

付属品
- ●取扱説明書（本書）　1枚
- ●クランプ×1

2.取り付け方法

⃠この製品は、付属クランプを使用して机の天板等水平面に直接固定してご使用ください。➡　火災・落下・ケガの原因になります。

【1.クランプを机等に取り付ける】

取付け可能な厚さは最大約38mmまでです。
※電源コードが壁や机等に挟まらないようにご注意ください。
※クランプは天板の平らな場所に取り付け、クランプ調節ネジを回してしっかり取付けてください。

【2. 本体をクランプに差し込む】

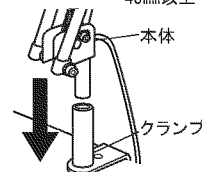
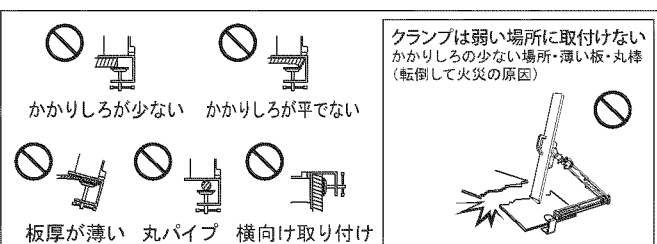
机に取り付けたクランプに本体を差し込んでください。

●下図ような不安定なところには取り付けないでください。

かかりしろが少ない

かかりしろが平でない

板厚が薄い　丸パイプ　横向け取り付け

クランプは弱い場所に取付けない
かかりしろの少ない場所・薄い板・丸棒
（転倒して火災の原因）

3.使用方法

（1）電源コードの接続

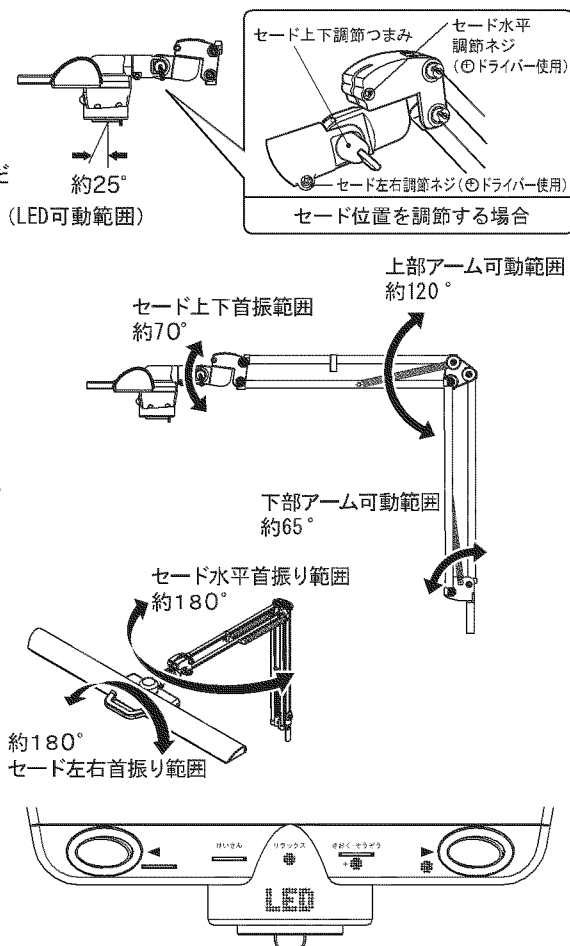
⃠電源コードの差し込みプラグを交流100ボルト（V）のコンセントにしっかり差し込んでください。
　➡差し込みがゆるいと、火災・感電の原因になります。
⃠コンセントの差し込み口がゆるまない状態でご使用ください。
　➡ゆるんだままご使用になりますと、火災・過熱の原因になります。
　ゆるんでいる場合は必ず電気店に点検、修理を受けてからご使用ください。

（2）操作方法

●ライトの動作範囲は、右図のようになっています。
⃠動作範囲を超えてむりに動かさないでください。
　➡ライトの破損や断線を引き起こし、火災・感電の原因になります。
●セードをお好みの角度に調節してください。
⃠各部の動きが軽くなったりセードが下がってきた場合は各調節ネジまたは調節ツマミを右に強く回してください。

（3）ライトの機能

中央部にあるLED ライトは、読書灯等として使用できます。
また、図のように矢印の方向に動かし、照射方向を変えることができます。
⃠LED ライトに、無理な力を加えないでください。
　➡ライトの破損や断線を引き起こし、火災・感電の原因になります。
⃠ 点灯時のLED ランプを直接見ないでください。
　➡長時間直視しますと、目の健康を害する恐れがあります。
　蛍光ランプとLED は、スイッチの操作によりそれぞれ別々に点灯ができます。
用途に応じて点灯状態をかえれば、光の色の効果により効率的に勉学・作業が行えます。
　➡効果の感じ方には個人差がありますことを、ご了承ください。

LED のみ	LED ＋蛍光ランプ	蛍光ランプのみ
リラックス	きおく・そうぞう	けいさん
照度を落とした夕日の色で就寝前の読書をすれば心地よい眠りにつけます。	適度な明るさとともに快適感のある光が暗記などに適し、想像力も生まれます。	白っぽい光には覚醒作用があるので頭の回転が活発化します。
赤っぽい光の色	⟺	白っぽい光の色

※（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

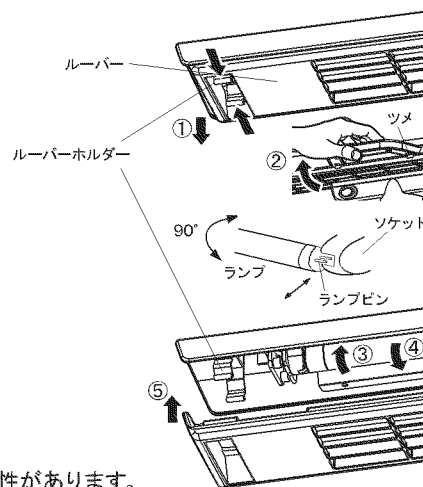
6 照明器具の使用方法 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

4.ランプの交換方法

⃠ランプ交換の際は、必ず電源を切って、しばらくしてから行ってください。
➡電源を切らないと感電の原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後に、ランプおよびランプ周辺をさわると、やけどの原因になります。
⃠ランプは適合したランプを使用してください。(右表参照)
➡適合しないランプを使用すると、火災の原因になります。
⃠ランプが寿命になりますと保護回路が働きそのランプは突然消灯しますが、故障ではありません。
ランプを交換し約5分後に電源を入れ直せば正常に点灯します。
➡スイッチを切ってから電源を入れ直してください。
再点灯しない場合、スイッチON・OFF操 作を2・3回行ってください。

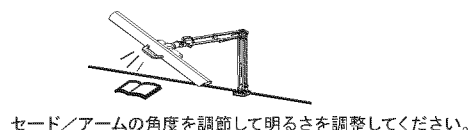
<ランプの取り外し>
①両端にあるルーバーホルダーを指でつまみ、ルーバーを持って下側に外してください。
②取っ手を持って上に引き上げると、ルーバー手前側のツメの掛かりが解けてルーバーが外れます。
③ランプ両端を指で持って、約90°回すとランプが外れます。
外れたときランプを落さないように注意してください。

<ランプの取り付け>
④ランプの口金ピンをソケットに差し込み、90°回転させると取り付きます。
⃠ランプの取り付けは丁寧に、確実に取り付けてください。
➡破損・落下の原因になります。
⑤ルーバーを取り付けてください。
ルーバーがルーバーホルダーに確実に引っ掛かるまで押し上げてください。
交換用ランプは、必ず上の表、および器具に表示の適合ランプを装着ください。
➡工場出荷時のランプと発光色が異なり、ライトの機能が十分発揮できなくなる可能性があります。

適合ランプ
高周波点灯専用ランプ FHF24SEN

5. 上手な使いかた

目の疲れを少なくするため、次のようにしてご使用ください。

●セードの姿勢は、角度調節によりランプの光が直接目に入らない状態でご使用ください。
●室内照明とスタンドを併用してください。

セード／アームの角度を調節して明るさを調整してください。

6. 器具のお手入れ

⃠ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。
⚠必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。
⚠点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。
⚠安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。

やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後のランプにさわるな

(1)ランプの交換方法
①電源を切ってから行なってください。
②ランプの交換方法を参考に指定のランプと交換してください。
（指定ランプは器具に表示してある注意シールをご確認ください。）
③この器具には高周波点灯専用ランプをご使用ください。
指定以外のランプを使用されますと発熱・火災のおそれあり危険です。

適合ランプ
高周波点灯専用ランプ FHF24SEN

(2)セードのお掃除
①スイッチを切ってから行なってください。
②乾いた柔らかい布等でセードの汚れを拭き取ってください。

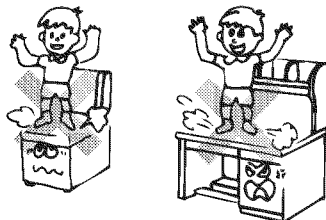
7. 故障かな?と思ったときは

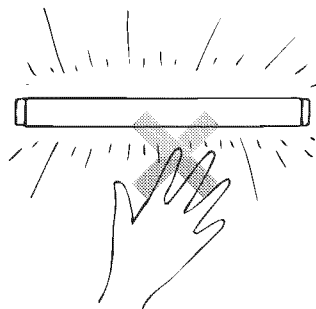
症　状	考えられる原因	処　置
点灯しない	電源プラグがはずれている	電源プラグをコンセントに差し込む
	ランプが切れている	新しいランプと交換する
	ランプが正しく取りつけられていない	電源プラグを抜きランプをソケットにしっかり差し込む
	電源が入ったままランプ交換した	一旦スイッチをOFFにして再びONする
点灯後、数分でランプが消える	ランプの寿命	新しいランプと交換する
使用中にランプが消える	電源の瞬間的な停電または電圧降下	一旦スイッチをOFFにして3秒以上後にONする

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源プラグを抜いてから、お求めの電器店・裏面ご相談窓口にご相談ください。

7 使用上のご注意

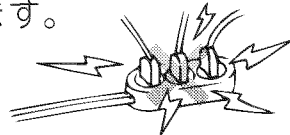
⚠ 警　告

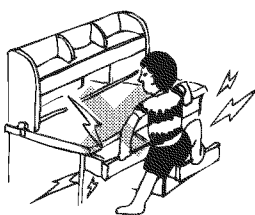
●けが・破損の原因になります。

机やいすの上に立ったり、とんだり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない

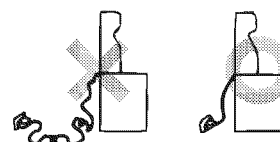
●やけどの原因になります。

点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない

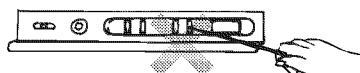
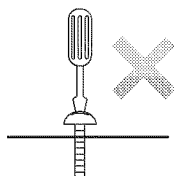
●火災の原因になります。

器具やランプに布・紙等をかぶせたり、近づけたりしない

●火災・過熱の原因になります。

タコ足配線はしない

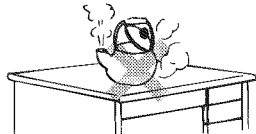
引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引っ張ったりしない

●火災・感電の原因になります。

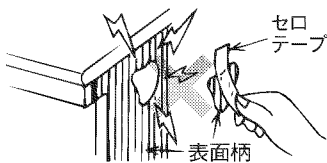
水洗いしたり、ぬれた手でさわったりしない

電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない

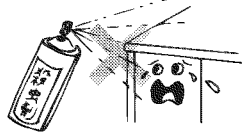
固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない

コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない

差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

⚠ 注　意

●こげ・変色の原因になります。

家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない

●表面が、はがれることがあります。

シールやセロテープ等を貼らない。

●変色・変質の原因になります。

シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない

●天板の上で硬いボールペン等で書くとキズが残ることがあります。マット、下敷をお使いください。

●塗料や接着剤等のにおいが残っている場合、換気を十分にして取り除くようにしてください。

8 点検と修理が必要なとき

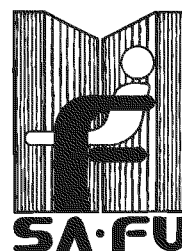
1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときはお買い上げの販売店にご相談ください。

- コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- 器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。

- 電流ヒューズの交換　● ランプの交換

⊘器具を改造したり､部品を追加･変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

9　コイズミ学習机保証書

品番	ODU-231BR・ODU-232WW （デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　　　）　―

お買い上げ日	販売店名･住所･電話番号
年　　月　　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

10　お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成24年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）